

提出日：2020年10月14日

公立大学法人大阪 理事長 西澤 良記 様
大阪府立大学 学長 辰巳砂 昌弘 様

大阪府立大学・大阪市立大学統合 に関する要望書

本アンケートの自由記述欄は学生の意見を解釈なくお伝えするため回答通り掲載しております。誤字脱字などの責任は一切持ちません。ご了承ください。

2020年度大阪府立大学学生団体連絡会議

1. 大阪府立大学・大阪市立大学統合に関する調査に関する要望

(ア) 府市大統合に関する説明会の実施

【要望理由】

現在、3-（ア）のアンケート結果を見てもわかるように府市大統合について十分に理解し納得している学生はほとんどいないことが示されています。現状では、大学当局は説明責任を果たせていない状況です。

アンケート結果3-（ア）-①からわかるように断固反対する学生も少ないですので、きちんとした説明を学生にすることでより迅速に進み、学生の不利益を最小限に抑えられると学生団体連絡会議は考えます。

よって、1-（ア）を要望します。

(イ) 早期キャンパス計画の確定

<要望事項>

- ① 基幹授業開催場所の早期確定
- ② 移転学部計画の詳細早期確定
- ③ キャンパスごとの課外活動使用可能設備の早期確定

【要望理由】

現在、大阪府立大学・大阪市立大学の両大学の学生団体や部活動は統合に向け話し合いを加速しようとしているところではありますが、キャンパス移転時期が確定しない以上はその話し合いもできません。

現在、市大の運営方法である「主に大学が学園祭資金を負担するやり方」と府大の運営方法である「主に自治会等学生が負担するやり方」の2種類が存在し、最悪の場合、開学の2022年の学園祭開催についてはこれらの統一ができない限り実施できない可能性なども考えられます。

上記は一例にすぎず多くの問題があります。早期にキャンパス計画を公表することにより、学生の学業についての支障を議論できるのはもちろんのこと、学生生活の一部となっている課外活動の更なる促進に努めることができます。

よって、1-（イ）を要望します。

(ウ) 開学時点での全キャンパスの環境の統一化

【要望理由】

大阪府立大学・大阪市立大学が統合に伴い、違う大学であったのでキャンパスごとの設備・予算など環境はもちろん異なっています。しかし、そのキャンパス間の差異は、大阪公立大学（仮）に通う学生に不利益を与えるのであればもちろん許容することはできません。

例えば、Wi-Fi の機器制限解除や課外活動等の環境改善などです。予算の確保などの必要性があることは重々承知しております。

現在から5年以内つまり森ノ宮キャンパス設置予定の2025年までに何卒キャンパスの設備調査等の現状確認実施の上、学習環境・課外活動環境統一を実施してください。

よって、1-(ウ)を要望します。

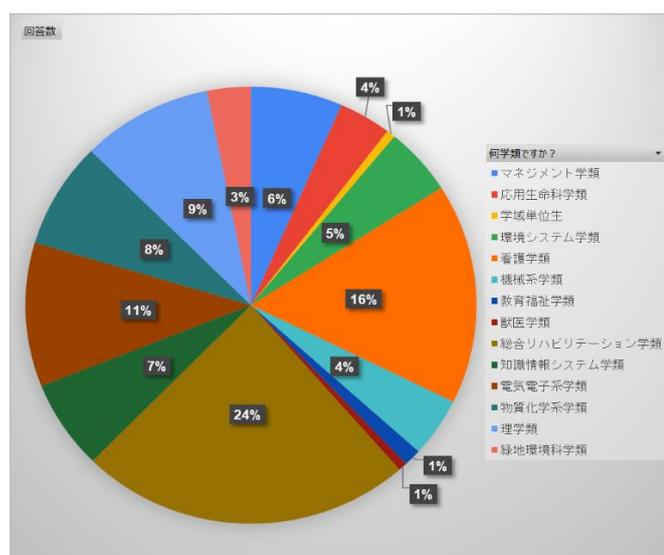
2. 大阪府立大学・大阪市立大学統合に関する調査に関する報告

1. 実施期間 : 2020/09/16(水) ~ 2020/09/23(水)

2. 全回答数 : 326 件

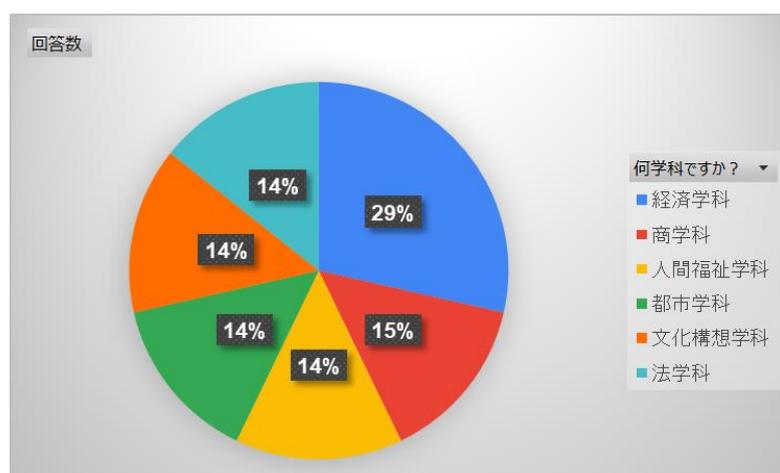
(ア)大阪府立大学生回答数 : 319 件

① 下記学類内訳図



(イ)大阪市立大学生回答数 : 7 件

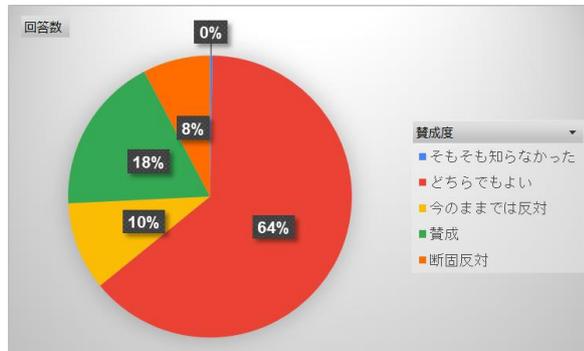
① 下記学科内訳図



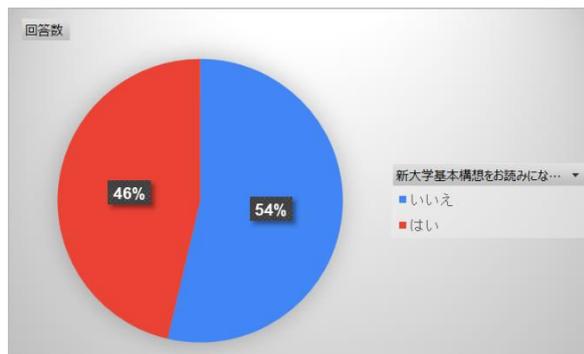
3. 質問回答に関する報告

(ア) 府市大統合への学生関心度を含む調査に関するグラフ

① そもそも府市大統合には賛成ですか？



② 新大学基本構想を読んだことがありますか？



③ 府市大統合に対する理解度を評価してください。(4 が高評価です)

